漁海況情報

令和 4 年 3 月 30 日 第 22 号 (通巻 714 号)

山口県水産研究センター 外海研究部 〒759-4106 長門市仙崎 2861-3

TEL: 0837-26-0711 FAX: 0837-26-1042 Mail: a16402@pref.yamaguchi.lg.jp

【海鳴りネットワーク】http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a16500/uminari/uminari-top.html

2021 年度 第2回対馬暖流系マアジ・さば類・いわし類長期漁海況予報

令和4年3月24日に開催された、第116回対馬暖流系マアジ・さば類・いわし類長期漁況海況予報会議の結果(2022年4月~9月における海況・漁況の見通し)をお知らせします。

* 参画機関:水産庁、水産資源研究所、(一社)漁業情報サービスセンター、青森県、秋田県、山形県、新潟県、富山県、石川県、福井県、京都府、兵庫県、鳥取県、島根県、山口県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、鹿児島県、沖縄県

【海況の今後の見通し(2022年4月~9月)】

1 海流

薩南海域における黒潮北縁域は、「屋久島南付近での変動」もしくは「接 岸傾向」で経過する。

2 表層水温

東シナ海から九州(山口県・沖縄県含む)沿岸域の海域は、全般的に「平 年並み~やや高め」で経過する。

(注)引用符「 | で囲んで表した平年比較の水温の高低の程度は以下のとおり。

「やや」 : 約3年に1回程度の発生確率 「平年並み」: 約2年に1回程度の発生確率

【漁況の今後の見通し(2022年4月~9月)】

対象海域 : 東シナ海

対象漁業 :まき網、定置網、その他

対象魚群 : 0歳魚(2022年級群(2022年生まれ))、1歳魚(2021年級群)、

2歳魚(2020年級群)。魚の大きさは、マアジ・さば類は尾叉長、

いわし類は被鱗体長で表示。

1 マアジ

(1) 来遊量

・沖合域は前年・平年並み、沿岸域は前年・平年を上回る。

(2) 漁期・漁場

・期間を通して、対馬沖、東シナ海中・南部、沿岸域が漁場となる。

(3) 魚体

・15~25cmの1歳魚(ゼンゴ・小・中銘柄)が主に、5~15cmの0歳魚 (豆・ゼンゴ銘柄)と25cm以上の2歳魚以上(中・大銘柄)も漁獲される。

2 マサバ

(1) 来遊量

・沖合域・沿岸域ともに前年・平年並み。

(2) 漁期・漁場

・期間を通して、東シナ海中・南部、五島西、対馬沖、沿岸域が漁場 となる。

(3) 魚体

・漁期前半は26~32cmの1歳魚(豆・小銘柄)と33~35cmの2歳魚 (小銘柄)が、漁期後半はさらに25cm以下の0歳魚(豆銘柄)が主に漁 獲される。

3 ゴマサバ

(1) 来遊量

・沖合域は前年・平年並み、沿岸域は前年並みで、平年を下回る。

(2)漁期・漁場

・期間を通して、東シナ海中・南部、対馬沖、鹿児島県の沿岸域が漁場 となる。

(3) 魚体

・沖合域では15~28cmの0歳魚(豆銘柄)と28~32cmの1歳魚(小銘柄)が主に漁獲される。沿岸域では28cm~37cmの1歳魚以上(小~中銘柄)が漁獲される。

4 マイワシ

(1) 来遊量

・前年・平年を下回る。

(2) 漁期・漁場

・期間を通して、長崎県以南の沿岸域が漁場となる。

(3) 魚体

・漁期前半は主に15~19cmの1歳魚に2歳魚が混ざり(中・大羽銘柄)、 後半は15cm以下の0歳魚(小・中羽銘柄)が主体となる。

5 ウルメイワシ

(1) 来遊量

・前年・平年並み。

(2) 漁期・漁場

・漁期の後半が主体となる。長崎県以南の沿岸域が漁場となる。

(3) 魚体

・漁期前半は15cm以上の1・2歳魚(中羽・大羽銘柄)が、漁期後半は 5~15cmの0歳魚(小羽・中羽銘柄)が主に漁獲される。

6 カタクチイワシ

(1) 来遊量

・前年・平年を下回る。

(2) 漁期・漁場

・期間を通して、山口県および長崎県以南の沿岸域が漁場となる。

(3) 魚体

- ・5~10cmの0歳魚(カエリ・小羽・中羽銘柄)が主体で、10cm以上の1 歳魚(大羽銘柄)が混じる。
- (注) 「前年」は2021年4月~9月。「平年」は過去5年の平均値。 「並み」はCPUE等指標値の±20%の範囲。 沖合域とは大中型まき網が操業する対馬周辺から東シナ海。